

IPA 情報処理技術者試験センターが 「応用情報技術者試験」午後試験における出題構成の見直しを発表

このたび、IPA 情報処理技術者試験センターより、国家試験「情報処理技術者試験」のうち、「応用情報技術者試験」の午後試験の出題構成の見直しが発表されました。

(URL: <http://www.ipa.go.jp/about/press/20150512.html>)

応用情報技術者試験は、システムエンジニアを目指す技術者の登竜門ともいえる国家資格として、春（4月）と秋期（10月）の年2回実施され、年間10万人規模が受験する人気資格です。今回の出題構成の見直しの背景には、昨今のITを取り巻くビジネス環境の変化、特にクラウドなどITサービスの振興によるIT人材の業務・役割の多様化が挙げられています。

この出題構成の見直しにより、受験者は担当業務や専門性に応じた問題選択ができるようになり、受験者の知識・スキルをより適切に評価できるようになります。さらに午後試験の1問あたりの解答時間が増え、受験者の皆様にとっては、これまでよりも時間をかけて午後試験問題に取り組むことができるメリットもあります。

以下、午後試験における見直しの内容を参考にいただき、次期の試験対策にお役立てください。

■午後試験の見直し内容のポイント

(1) 8分野から構成される選択問題の統合

ストラテジ分野とプログラミング分野の2分野から構成される選択問題と、ネットワーク分野、データベース分野、プロジェクトマネジメント分野など8分野から構成される選択問題を統合し、**全10分野**から構成される選択問題に変更。

(2) 選択問題の解答数を5問から4問に変更

全10分野から構成される選択問題の解答数を、これまでの5問から**4問**に変更。午後試験全体の試験時間は変更されないため、1問あたりの解答時間が増加。

(3) 配点を20点に統一

各問題の配点をこれまで混在していた16点と20点の配点から、**すべて20点**に統一。

〈AP 午後試験の出題構成〉

◎：必須問題 ○：選択解答問題

分野 T：テクノロジー S：ストラテジ M：マネジメント		現在				見直し後（150分）		
		問1	問2, 3	問4～ 11	計	問1	問2～ 11	計
T	情報セキュリティ	◎	—	—	150 分	◎	—	150 分
S	経営戦略 情報戦略 戦略立案・コンサ ルティング技法	—	○	—		—	○	
T	システムアーキテ クチャ	—	—	○		—	○	
	ネットワーク	—	—	○		—	○	
	データベース	—	—	○		—	○	
	組込みシステム 開発	—	—	○		—	○	
	情報システム開発	—	—	○		—	○	
M	プログラミング	—	○	—		—	○	
	プロジェクトマネ ジメント	—	—	○		—	○	
	サービスマネジメ ント	—	—	○		—	○	
	システム監査	—	—	○		—	○	
出題数		1	2	8	11	1	10	11
解答数		1	1	4	6	1	4	5
配点		16 点	20 点	各 16 点	100 点	20 点	各 20 点	100 点

注) 現在の下線部, 見直し後の赤地は変更箇所を示す。